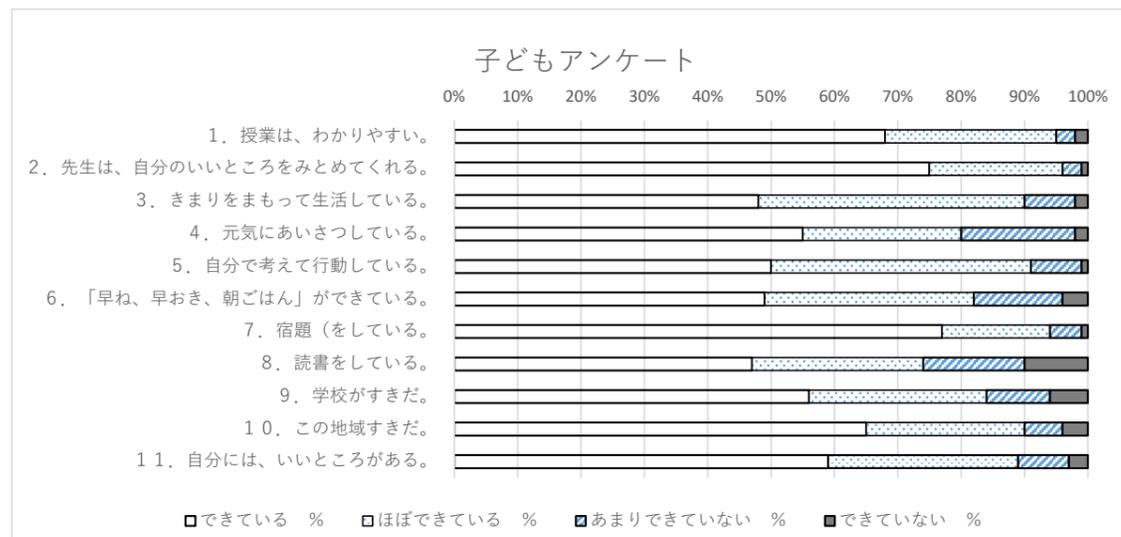
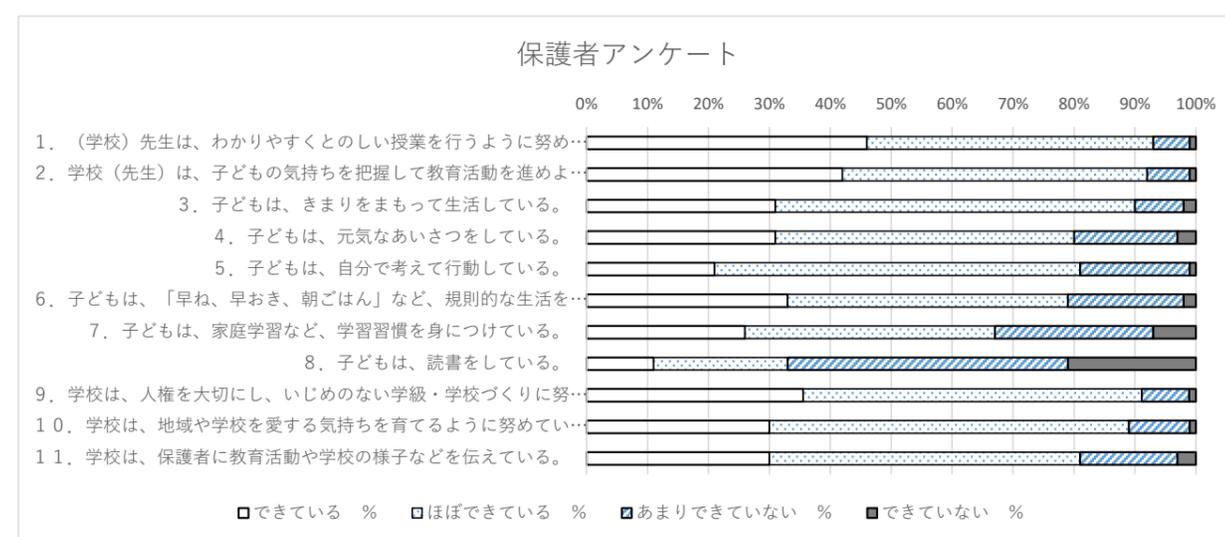


R4学校評価アンケート結果

子どもアンケート	できている %	ほぼできている %	あまりできていない %	できていない %
1. 授業は、わかりやすい。	68	27	3	2
2. 先生は、自分のいいところをみとめてくれる。	75	21	3	1
3. きまりをまもって生活している。	48	42	8	2
4. 元気にあいさつしている。	55	25	18	2
5. 自分で考えて行動している。	50	41	8	1
6. 「早ね、早おき、朝ごはん」ができています。	49	33	14	4
7. 宿題（をしている）。	77	17	5	1
8. 読書をしている。	47	27	16	10
9. 学校が好きだ。	56	28	10	6
10. この地域好きだ。	65	25	6	4
11. 自分には、いいところがある。	59	30	8	3



保護者アンケート	できている %	ほぼできている %	あまりできていない %	できていない %
1. (学校) 先生は、わかりやすくてのしい授業を行うように努めている。	46	47	6	1
2. 学校(先生)は、子どもの気持ちを把握して教育活動を進めようとしている。	42	50	7	1
3. 子どもは、きまりをまもって生活している。	31	59	8	2
4. 子どもは、元気なあいさつをしている。	31	49	17	3
5. 子どもは、自分で考えて行動している。	21	60	18	1
6. 子どもは、「早ね、早おき、朝ごはん」など、規則的な生活を送れている。	33	46	19	2
7. 子どもは、家庭学習など、学習習慣を身につけている。	26	41	26	7
8. 子どもは、読書をしている。	11	22	46	21
9. 学校は、人権を大切に、いじめのない学級・学校づくりに努めている。	32	50	7	1
10. 学校は、地域や学校を愛する気持ちを育てるように努めている。	30	59	10	1
11. 学校は、保護者に教育活動や学校の様子などを伝えている。	30	51	16	3



教育活動を振り返り改善していくため、1月に学校評価アンケートとして、「子どもアンケート」と「保護者アンケート」を実施しました。ご協力ありがとうございます。

内容につきましては、1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 10の項目において、「子どもアンケート」と「保護者アンケート」両方に関連性のあるものとなっています。見方としては、「できている(そう思う)」と「だいたいできている(だいたいそう思う)」を肯定(率)、「あまりできていない(あまりそう思わない)」「できていない(そう思わない)」を否定(率)と捉えます。肯定率が80%以上であることを基本と考えています。

◇「1わかりやすい授業」や「2いいところを認めてくれる・気持ちを把握して」の肯定率は、いずれも90%を超えています。教職員としましては、授業研究や児童理解についての研修に取り組んだり、児童の様子をこまめに交流し共通理解を図ったりしながら進めています。しかし、いずれの項目につきましても「できていない(そう思わない)」という回答があります。これを重く受け止め、主体的に子どもが学ぶわかりやすい授業と温かい学級経営をめざし、より一層子ども一人一人と向き合っていく必要性を感じます。

◇「3きまりをまもって」「4元気にあいさつ」については、いずれもそれぞれ80%・90%の肯定率でした。下校会や放送などで呼びかけると、はりきって大きな声であいさつしたり帽子をかぶったりする素直な子どもたちですが、継続が難しくかったり、立っていただいている地域の方へのあいさつがなかなかできなかつたりと課題も残ります。年度末の機会に、持ち物や服装、分団登校など基本的な部分の点検にもご協力をお願いします。

◇学校目標でもある「5自分で考えて行動する」については、子ども90%、保護者80%の肯定率でした。未来を生きる子どもたちには、学習やそれ以外の場面でも、主体性が求められるようになっていきます。意識して、子どもに考えさせ選択させ責任を持たせるとともに達成感と自信につながるよう、時には少し待ち、子どもの言葉に耳を傾け、教育活動を推進していきたいを思います。

◇「6早寝、早起き、朝ご飯」については、いずれも肯定率が80%前後です。保健室を訪れる子どもたちの中には「ゲームをしていて寝るのが遅くなった。」「宿題にかかるのが遅かった。」「朝ご飯を食べる時間がなかった。」と言う子もいます。朝ご飯を食べないと、体温が上がらず、脳も活性化しにくくなります。朝から良いスタートが切れるようご協力をお願いします。

◇子どもの「7宿題をしている」の肯定率90%以上に対し、保護者の「7学習習慣」の肯定率は70%に達していません。宿題の目的の一つに学習習慣の定着があります。曜日にもよりますが、時間を決めて取り組んでほしいです。早く終われば、残りの時間を音読や読書、予習・復習、自由勉強などに工夫してあてるのもいいですね。学校でも勉強の仕方について、丁寧に伝える必要性を感じます。

◇「8読書をしている」についての肯定率は、子ども70%強、保護者約35%といずれも低い水準となっています。まずは、図書館をより使いやすく、本を手に取りやすい環境に整えていきます。図書ボランティアさんと相談し、入り口の戸を開けるとまずゆったりとした空間と楽しい絵本が目に入るように、絵本コーナーを新設予定です。また、本の位置がよりわかりやすくなるよう工夫もしていく予定です。本を借りる機会も多く持てたらと思います。家族と一緒に読書タイムもお勧めです。

◇「9学校が好きだ」の肯定率は約84%、否定率16%のうち6%が「そう思わない」と回答しています。注意深く子どもを見ながらどの子にとっても学校が安心できる楽しい場所であるように、チームとして取り組んでいきたいを思います。お子様の様子で気になること等ありましたら学校にもお伝えいただけるとありがたいです。

◇子どもの「10この地域が好きだ」の肯定率は90%と高い値を示しています。この土地ならではの温かさが子どもにも伝わっているように思います。この強みを活かし、感染状況を考慮しつつ積極的に交流していきたいを思います。子どもにとっても地域の方にとっても楽しい時間が持てたらと思います。本年度は、ボランティアさんと子どもの交流を持ちました。また、公民館活動のヨガ体験も2年生で予定しています。

◇保護者の「11保護者に教育活動や学校の様子を伝えている」の肯定率は約80%。さらに「すぐる」の活用やホームページの整理と充実等を考えていく必要性を感じています。